

2月26日 ルカによる福音書4章1～13節 今日の説教から

説教題：「荒れ野での誘惑」

今日の個所に記されている荒れ野における三つの誘惑、特に最後の誘惑は、悪魔が聖書を引用しながら行ったものでした。悪魔が引用した聖句は詩編の91編からの言葉です。神様だけを信じる従順な信仰者に対して、神様は「災いから逃れさせ、高く上げ」、「呼び求めるときには答え、苦難の中では共にいて助ける」と書かれている個所です。神様に対して従順なイエス様であれば、高い屋根の上から飛び降りたとしても必ず支えてくれるだろう、という指摘は、決して的外れなものではありません。悪魔は、「正しい言葉」によってイエス様に誘惑を行っていたのです

それに対して、イエス様は申命記の6章から神様の言葉を引用します。まさに不信仰というべき「神様を試す」ということ、それは、「私は神様に愛されているのだから、神様なら助けてくれるはず」という考え方から出てくるものです。これは、「助けてくれなければ信じない」という、脅しの響きを含んでいます。私たち人間と神様は、本来何か物々交換のような取引ができる間柄ではなく、私たちは無限の愛を神様から注がれる側であり、決して対等ではありません。人間の力によって神様を動かすことはできないのです。神様に対して試みるという傲慢なことは、決してゆるされることではない、ということイエス様はよく理解していました。だからこそ、イエス様はあらゆる誘惑を退けることが出来ました。

誘惑や欲望と言えば、カトリックにおいては「七つの大罪」という教理があります。「傲慢、強欲、嫉妬、憤怒、色欲、暴食、怠惰」の七つの欲望は人間を罪に導く欲望であるから避けるように、とカトリックの教理には定められています。これに加えて、最近では現代社会の抱える課題に対して提起された「新しい七つの大罪」として、「遺伝子改造、人体実験、環境汚染、社会的不公正、人を貧乏にさせる事、過剰な富を持つこと、麻薬中毒」なども大罪であるとされています。

この世には多くの誘惑があり、私たちの中にも多くの欲望があります。その中でも一つ気を付けなければいけないのは、私たちには「正しくありたい」という欲望もあるのです。これはもちろん、正しいことが罪であるという指摘ではありませんし、神様の正しさになにか問題があるわけではありません。ただ、私たちが「正しさ」に執着しすぎたその時、時にその正しさは誰かを傷つける武器になってしまうことがあります。誰かを傷つけた人を指さして「悪だ」と言うような、私たちが正義だと思う行動は、時にその人を傷つける行動にもなり得ます。その時、悪を指摘する私たちは純粋な正義の立場で居続けられるのでしょうか。

そして何よりも、そのように人に正義を問いながら自分の正しさを疑うことが出来なくなった時、私たちは自分のことを何よりも正しいと思い込み、それこそ「神様よりも正しい」という結論にまで達してしまうことがあるのです。私たちは、そのような「歪んだ正義」を求めないように気を付けなければいけません。

神様の言葉だと思って従ったその言葉は、本当に神様の言葉なのか、私たちは聖書を自分に都合のいいように読んでいないか、この難しい時代の中で、本当に神様が求めていることは一体何なのか。それを常に聞き求め続ける謙虚な姿勢が求められているのです。

受難節が始まりました。イエス様の十字架と苦難に思いを馳せるこの時を、私たちは多くの災いと欲望と隣り合わせの時代の中で、常に誘惑の声を聞きながら生きています。時に悪魔は聖書の言葉を使って、本当の神様の声のようにささやきかけてきます。常に目を覚まして、常に神様に問いかけながら、そして神様であれば私たちを本当の正しさへと導いてくれると確信をしながら、この受難節の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ルカによる福音書 4章 1～13節

- 1:さて、イエスは聖霊に満ちて、ヨルダン川からお帰りになった。そして、荒野の中を“霊”によって引き回され、四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。その間、何も食べず、その期間が終わると空腹を覚えられた。そこで、悪魔はイエスに言った。「神の子なら、この石にパンになるように命じたらどうだ。」イエスは、「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」とお答えになった。更に、悪魔はイエスを高く引き上げ、一瞬のうちに世界のすべての国々を見せた。そして悪魔は言った。「この国々の一切の権力と繁栄とを与えよう。それはわたしに任されていて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もしわたしを拝むなら、みんなあなたのものになる。」イエスはお答えになった。「『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」そこで、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて言った。「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ。というのは、こう書いてあるからだ。『神はあなたのために天使たちに命じて、あなたをしっかりと守らせる。』また、『あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える。』」イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』と言われている」とお答えになった。悪魔はあらゆる誘惑を終えて、時が来るまでイエスを離れた。